



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

自 在

校長 萩原 哲哉

例年より長めの冬季休業日を過ごし、新年を迎えました。令和初の年末年始、皆様方は、どのように過ごされたでしょうか。

私共の世代における年末年始は、商店街から人影も灯りも消え、世の中全体が静まりかえった中で、ゆく年を送り、くる年を迎える、というものでした。元旦（元日の朝）に、いただいた年賀状を、家族それぞれに仕分けするのは、私の仕事でした。四人家族で仕分けされた賀状の山は、学校の教員をしていた両親・姉に比べて、ほんの数ミリ。「学校の先生って、いいなあ」との幼心に思ったことが、現在の職に就くきっかけにもなりました。はじまりは、ほんのささいなことなのでしょう。

そんな原風景を思い出しながら、ゆっくり進む時間の中で、いろいろなことに思いを致しました。その一つが「自由自在」。何かの番組で目にした言葉です。束縛も、支障もなく。心のままであること、の意味ですが、「自由」と「自在」とは、やや違いがあるようです。

「自由」という言葉は、もともと日本語にはなく、かの福沢諭吉が「liberty（またはfreedom）」の訳語として作った言葉だそうで、日常的によく見かけます。「自分の責任において、思いのまま、心のままに行うこと」と辞書にありました。

もう一つの「自在」は、「般若心経」の冒頭「観自在菩薩・・・」に見られる言葉ですが、「命や心、財産などを思いのまま上手に使いこなす力」という意味があります。

両者は「心のまま、何でも思うことをやってよい」という意味では同じですが、「自在」の方は多少の限定があります。つまり、「与えられた場所を活かす」ということ。修道女であった渡辺和子氏の言、「置かれた場所で咲きなさい」にも通ずるものがあります。

私たちに与えられた場所、私たちが置かれた場所は、「2020年」という、オリンピックを機に日本という国が世界の中で大きく変わっていくであろう年です。グローバル社会、SDGs（持続可能な開発目標）、プログラミング学習、・・・たくさんのキーワードが飛び交う中、与えられた場所・置かれた場所に根を張り、子どもたちの未来に向けて、多くの枝、多くの葉を茂らせて参りたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。